

live

13

ライブ
live: 「自分らしく輝いて生きる」という想いを込めた男女
共同参画推進のための情報紙です。ぜひご覧ください。

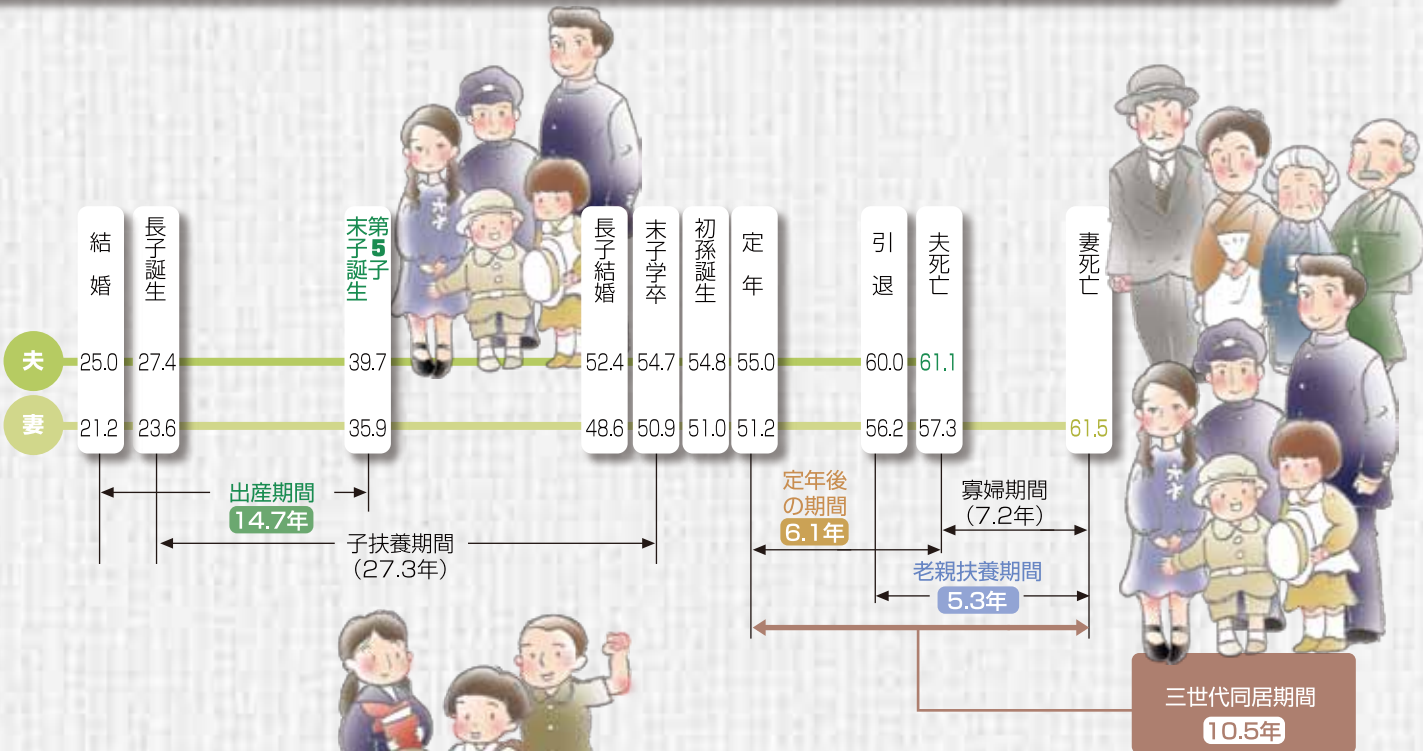
CONTENTS

- 2 特集 家族の「今」と「これから」
- 6 漫画で考える「男女共同参画」!
- 7 クロスワードパズル
- 7 本とDVDの紹介
- 8 ライブエッセイ

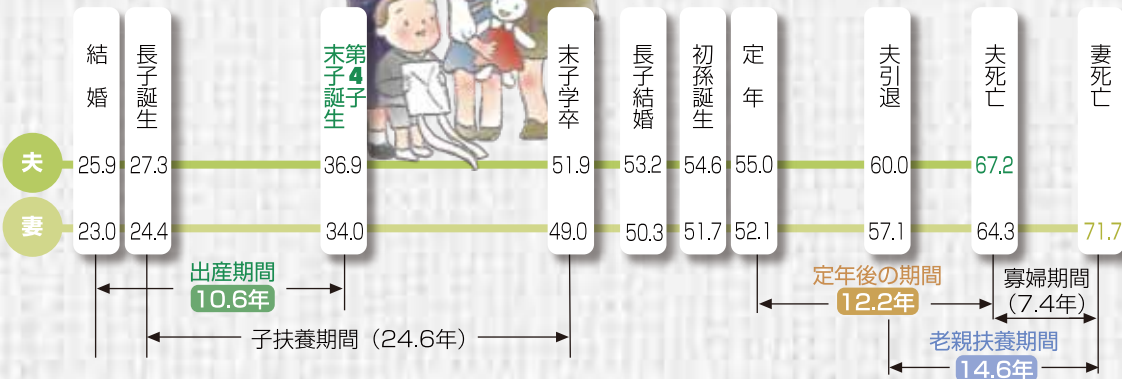
ライフサイクルの変化

(注) 総務庁「国勢調査」、厚生省「出産力調査」
「人口動態統計」「生命表」等により作成(平成4年現在)

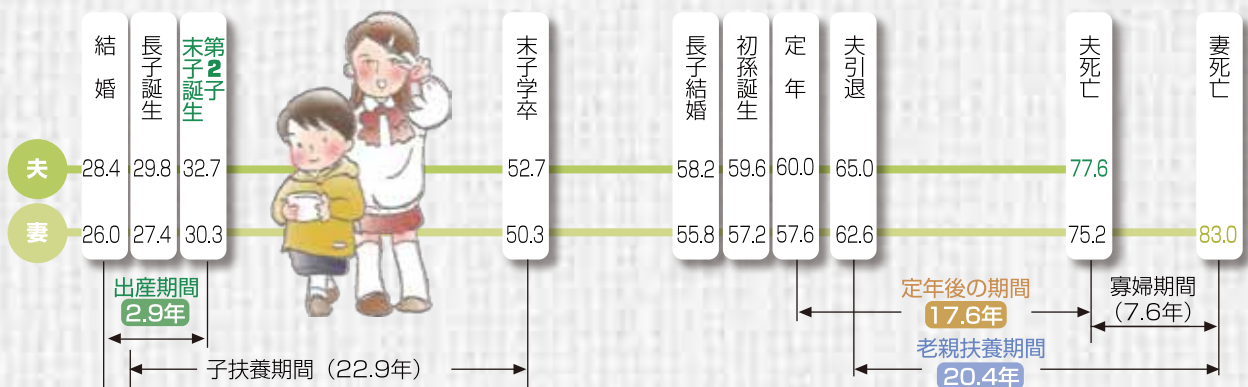
大正



昭和25年



平成4年

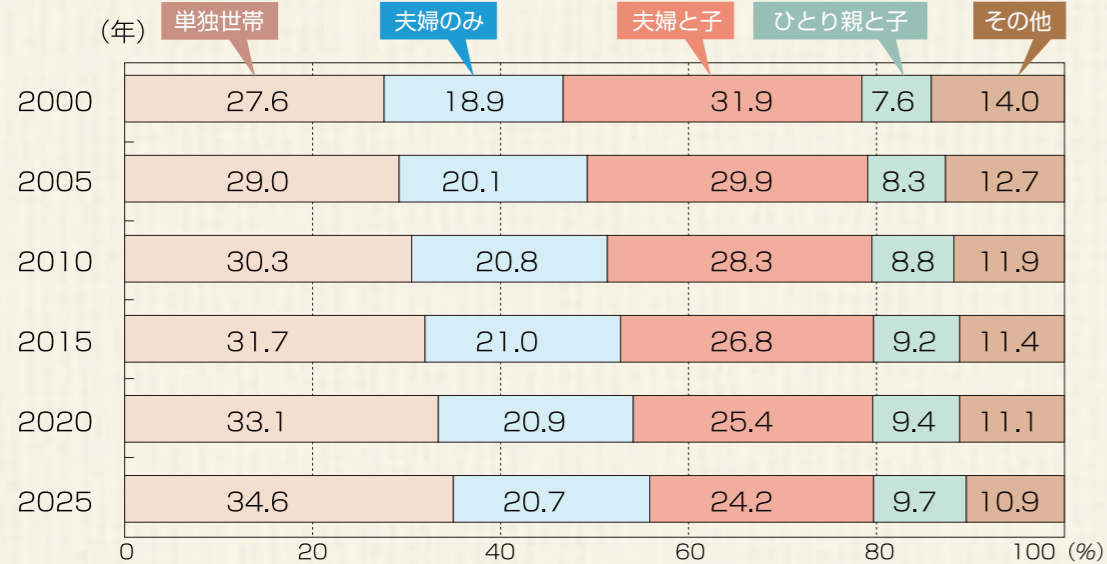


「標準世帯」の減少

国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」
(2003(平成15)年10月推計)に基づく家族類型別世帯
数割合の将来推計より

データ

家族類型別一般世帯数の将来見通し



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（平成15年10月推計）」
注：「その他」とは「その他の親族世帯」と「非親族世帯」を合わせたものである。

少子化はどのような社会的・
経済的影響を及ぼすか。

今後とも単独世帯の増加が続き、2000（平成12）年の27.6%から2025（平成37）年には34.6%と、全世帯の3分の1は単独世帯になると見込まれている。核家族世帯の中でも変化があり、「夫婦のみ世帯」の割合は2000年の18.9%から2025年には20.7%と微増するが、「夫婦と子」の世帯は、2000年の31.9%から2025年には24.2%に減少する。

これまで「夫婦に子ども2人」という世帯が、わが国の標準的な世帯の姿として語られてきたが、子どもの数の減少と相まって、「夫婦と子」の世帯が全体の4分の1に過ぎなくなることや、従来の「標準世帯」の概念は薄らいでくるものといえる。なお、「ひとり親と子」の世帯数は増加し、全体の割合も2000年の7.6%から2025年の9.7%と微増する。

社会保障をはじめとした今日の経済社会システムは、「夫婦に子ども2人」という標準世帯を前提に、制度を設計したり議論をしたりすることが多いが、単独世帯が3分の1を占めるような将来の社会では、各種制度設計にあたっては単独世帯をはじめ、多様な世帯類型を視野において検討していく必要がある。

どこまでが家族？

よく言われる「核家族」とは「家族を継続する核」という意味で、これまでは夫婦と子供を最小単位（核）としていました。しかし、そもそも家族というものに定義はなく、人によってはペットやおじ、おばまでもが家族に含まれます。今では夫婦のみやひとり親家族も含めて核家族と言っているようです。

2010年は単独世帯と夫婦のみで全体の50%を占めるようになりました。つまり、今の家族構成員は1人か2人なのです。割合で見ると、多い順に単身、夫婦と子供、夫婦のみとなりますが、この傾向は今後も進んでいくでしょう。

このままで大丈夫？

私は二つの問題に注目してきました。一つは単身世帯になった時の女性のケアは誰が担うのかということ。女性は「生涯ケアラー」として子、親、夫の世話をした結果、最後に自分のケアを頼む人が家族の中に誰も居なくなるという皮肉



特集

家族の

「今」と

「これから」

家族社会学の研究者である志村哲郎教授に家族の「今」と「これから」をお聞きし、女性の立場が「家族」や「社会」のなかで、どのように変わってくるのかを検証しました。

日本の標準世帯は、
単身世帯!!

2010年は日本の世帯構成における大きな変化の年でした。なんと単身世帯が30.3%で、世帯全体で最大の割合を占めるようになったのです。これまで標準世帯

とされていた夫婦と子供2人の世帯はそれに次ぐ28.3%でした。つまり、日本の標準世帯は、単身世帯になったとも言えます。

プロフィール
【経歴】1949年山梨県生まれ。関西大学大学院社会学研究科博士課程。関西大学人権問題研究室を経て、平成6年より山口県立大学教授。
【研究紹介】専門分野は人権問題・生命倫理・家族社会学。大学では福祉文化論、デス・エデュケーション、哲学を担当。著書に『被差別世界の社会学』。
少子・高齢化の進行によって、介護・介助問題が深刻化する中、家庭において介護は主に女性によって担われていることに対し、いつの時代から女性介護が行われるようになったのか、その歴史的過程を研究。

な現実が起きているということ

二つ目は女性の長寿化です。2030年には女性の平均寿命が90歳になるといわれ、女性のケアはさらに大きな課題となつてきま

山口県も少子・高齢化は進み、平成23年の高齢化率は27.9%で全国第4位。

平成20年の特殊出生率は、全国が1.37に対し山口県は1.43である。出生率は2.2を上回らないと人口減少となる。全国平均より山口県の出生率は若干高いが少子化であることに変わりはない。*

山口県では高齢化、少子化とも今後進む、平成47年は高齢化で全国6位と推測されている。

県内における高齢者の増加は、単なる人々の長寿化の影響だけではなく、若者層の県外流失が結果として高齢者割合の増加として現れている。

例

平成16年まで高齢化率日本一 周防大島の旧東和町での話

東和町で育ったひとり息子のA君は、東京の一流大学に合格。両親は鼻高々。やがて息子は東京で就職し、職場の女性と結婚した。一方、大島でみかんづくりをしてきたみかん畑からは、離れたくない。知らない人ばかりの東京なんかには行かない。そう答える。生涯、人の世話をしつづけた。だつたこの母親の老後をいつたいた老夫婦は、夫が倒れ、妻は夫誰が見ればよいのでしょうか。*

※特殊出生率：16歳から49歳までの女性が生涯に産む子ども数の年平均値。

す。「子どもが見ればいいじゃない」という声が聞こえてきそう

すが、少子化や特に山口県の場合、子どもの多くは遠くに出てしまっていることが多いのです。

*生涯ケアラ―＝生涯、介護に従事する人

ケアの現実

北欧では障害者等の施設がなくなり、在宅やグループホームなどの在宅型に移行しています。日本でも財政面から、国は在宅ケアを推進しています。しかし、単身世帯が増加している日本では在宅ケアを担う家族が存在しないという現実を目を向けなければいけません。

ベビーブームピーク時の昭和24年の出生数は262万人で、16549歳の女性が生涯に生む子どもの数の平均は4.3人でしたが、現在は1.3人になりました。かつては、2人の親を4人の子どもで見ていたのが、1982年に親子比が逆転し、1対2から2対1になったにもかかわらず、今でも親の世話 子どもがすると考えるのは困難になりました。

社会保障システムは江戸時代のまま

社会保障の基本的な考え方は江戸時代に遡ります。ケアは相互扶助で行い、幕府や藩は公的な救済

を行っていませんでした。「寡寡孤独廃疾（かんかこどくはいしつ）のもの哀れむべき」とお互いに助け合う五人組を組織し、明治時代から戦後までこれを踏襲しました。

戦後、新しい憲法ができましたが、民法における家族主義は変わらず今日まで続いてきました。面白いのは、江戸時代の武士は介護も行っていたという事実です。藩に願いを出せば「御暇おんひま」という介護休暇がとれ、何から何まで男性が世話をしていたという記録があります。介護は女性が担うものという考えは、昔にはなかったという裏づけです。

時代にあった福祉とは？

福祉には家族型、市場型（福祉を買う）、社会型の3つの選択肢があります。日本は家族型、アメリカは市場型、北欧は社会型で、北欧が50%という高い税率で厚い福祉政策を実施していることをみれば、日本の税金に対する考えを改める必要があると言えるでしょう。

つまり、現代の方が血縁を重視していると言えます。

「孤」の時代を迎えた今こそ、人とどう繋がっていくかが大事です。単身化をネガティブにとらえず、地縁、血縁、社縁の3つの縁から、さらに身近に頼みごとができる友達家族との「友縁」など、新しい縁を紡ぎだしていくことが、これからの「家族のきずな」のあり方ではないでしょうか。

男女ともに、新しい縁を積極的につくっていく心意気が大事です。



日本では崩壊している家族に依存し、今でも福祉の届かない部分を家族（女性）が負担しています。なぜそうなるのか。それは日本には、民法において他国にはない「家族扶養義務」（注：法的には、扶養は経済的扶養に限定されている）があり、ケアを行うのは家族単位、世帯単位と法律で義務付けているからです。憲法25条の実現のために出来

た、最低限の暮らしを保障する「生活保護法」も、世帯を単位としていきます。世帯単位主義は家族兄弟の順に面倒を見て最後に国となります。一方、スウェーデンなどは個人単位で、徹底的に個人を大事にした社会構成を図っています。これは、日本も見習うべき姿です。ケアと家族愛は切り離して考えることの重要性を、まずは女性が気づくべきです。

「無縁社会」と「孤族」の時代

オイルショックの年に母親による障害児殺害事件が多発した時から、私は女性に介護をさせているシステムこそが問題ではないかということに気づき、この研究をするようになりました。

2010年頃にNHKで「無縁死」、朝日新聞で「孤族」が取り上げられたことに象徴されるような問題が数々起こっています。

「無縁死」や「孤族」の背景には、単身世帯や非正規労働の若者の増加要因があげられます。村落と違って人とのつながりの薄い都会では男性の無縁死が増加してい

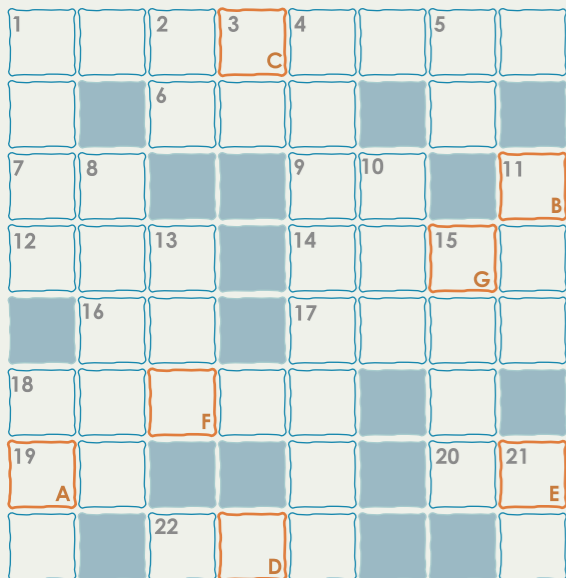
家族の「これから」

「家族」の定義はないのですから、過去の家族のあり方へ戻る必要はありません。歴史的に見ても、家族はそれ程深い付き合いをする場ではありませんでした。江戸時代の農村では、家族は生産を行う場所でした。武家でも息子を養子に出し、跡取りに養子を迎えるという血縁よりも家の存続の方が重視されていました。



正解者のうち抽選で30名の方に図書カードを差し上げます。

Crossword



答えは **A B C D E F G** です！

■応募資格 市内在住か、在勤の方

■応募方法 3月15日(木)までに、はがきに答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・感想をご記入の上、下記へ送付してください(当日消印有効)。
〒753-0074 山口市中央二丁目5-1
山口市男女共同参画センター 宛
※正解者のうち抽選で30名の方に図書カードを差し上げます。
なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

ヨコノカギ

1 山口市男女共同○○○○○○○○○○
は市民会館の敷地内にあります

6 既婚↓○○○

7 ○○タイプ、積極的

9 焼き○○、○○モチ、チリ○○

12 あらかじめ約束すること

14 走る人を英語で

16 月火○木金土日

17 留守番電話を略して

18 東大寺二月堂の行事

19 三〇四温

20 ○○の祝い、七十歳のこと

22 絵の色付けに使う顔料

タテノカギ

1 あげぼよの反対語

2 上、神、紙、髪

3 かき○け○

4 セ・リーグは略称、野球連盟

5 かわいい子には○○をさせよ

8 そけい、白い花から香水が

10 シャンプー&○○○

11 地域、区域、区画

13 ○○○番組 アタック25

15 女子サッカー○○○○ジャパン

18 かきもちのこと

21 ○○○も鳴かずば撃たれまい

これらの図書やDVDは、山口市男女共同参画センターにて貸し出しています。

Books & DVD

DVD

海洋天堂 (4月下旬に貸出予定)
(中国映画 主演 ジェットリー)
47歳の水族館職員・ワン・シンチョン(王心誠)は、自閉症と重度の知的障害を持つ21歳の息子・ターフ(大福)を男手ひとつで育ててきた。ある日、シンチョンは、自分が癌に侵され、余命わずかであることを知る……。



BOOK

だいしょうぶ3組
乙武洋匡著(講談社)
主人公「赤尾慎之介」には手と足がありません。体当たりでクラスの子どもたちとぶつかって心で向き合おうとします。新米教師の1年間が描かれた作品です。2013年に映画化が決定。



BOOK

僕が被災地で考えたこと
乙武洋匡著(講談社)
東日本を襲った「津波」。吹き出しやがれきの撤去のボランティアはできないけれど、被災者の方々が前向きな気持ちを取り戻すお手伝いはできると、乙武洋匡が被災地に電動車椅子に乗って訪れました。



BOOK

男おひとりさま道
東京大学大学院
教授 山田洋子著(法研)
非婚・離婚・死別により「男おひとりさま」が増加しています。本書では、「下り坂を降りるスキル」「ひとりで暮らせるか」など男おひとりさまが充実した暮らしを送るアドバイスが書かれています。

漫画で考える「男女共同参画」!

帰省編

家庭介護編

退職後の夫婦の会話編

漫画 山尾彩香さん プロフィール 山口市在住 1990年鳥取県生まれ 第15回まんが甲子園ブックバージョン 友田晴子賞受賞

■応募方法 3月15日(木)までに、はがき裏面(文面)にエピソードを記載し、表面に郵便番号・住所・氏名をご記入の上、左記へ送付してください。ペンネーム・封書・メールでの応募は不可(当日消印有効)。
〒753-0074
山口市中央二丁目5-1
山口市男女共同参画センター
「男女共同参画」エピソード係宛

家庭や職場、学校、地域などで、日常のうれしい、楽しい、またちよつと我慢ならないような「男女共同参画」のエピソードを募集します。
採用されたエピソードは四コマ漫画となつて、「山口市男女共同参画センター」の公式サイトで公開します。

エピソードを募集します。

「山口市男女共同参画センター」公式サイト

<http://www.y-djc.com/>

山口市男女共同参画センター

検索



作家

おとたけ ひろただ
乙武 洋匡

Profile

東京都出身
大学在学中、自身の経験をユーモラスに綴った『五体不満足』(講談社)が多くの人々の共感を呼び、500万部を超す大ベストセラーに。
大学卒業後は、「スポーツの素晴らしさを伝える仕事したい」との想いから、シドニー五輪やアテネ五輪、またサッカー日韓共催W杯など、数々の大会を現地取材した。
2007年2月に小学校教諭二種免許状を取得、同年4月から2010年3月まで杉並区杉並第四小学校教諭として勤務し、3・4年生を担当した。現在は教育現場で得た経験を発信していく活動を柱としている。
2011年4月からは、ナチュラルスマイルジャパン株式会社取締役として、「まちの保育園 小竹向原」の運営に携わる。
主な著書:『五体不満足』(講談社)、『希望 僕が被災地で考えたこと』、『だいたいようぶ3組』ほか

自己肯定感を育む

先日は、山口市民会館にて多くのみなさんとお会いすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。当日、会場には入りきれない方も多くいらしたということなので、またぜひ伺いできればと思っています。

僕は2007年からの3年間、杉並区の公立小学校教師として子どもたちと向き合ってきました。そのとき、僕が最も強く意識をしていたのは「自己肯定感を育むこと」でした。自己肯定感とは、「僕は愛されている」「私は必要とされている」といった自分を認める心的ことです。

僕が4年生を担当していたとき、「1/2成人式」という授業を行いました。20歳で成人式だから、その半分の10歳で「1/2成人式」。この10年間でできるようになったこと、得意なことを保護者の前で披露したり、ここまで育ててもらった感謝の思いをスピーチしたり。授業の最後には、サプライズを用意しました。保護者のみなさんから、子どもたちに宛てた手紙をご用意いただいたのです。封を開け、愛のつまったメッセージを受け取った子どもたちは、涙を流しはじめました。嗚咽が止まらない子もいました。あとで感想を書いてもらうと、「お父さん、お母さんがこんなに大切に思ってくれているとは思いませんでした」「お母さんが普段から口うるさいことを言うのも、僕のことをもっとよくくしようと思つてのことだとわかりました」とあります。僕は、ハツとしました。

日本には、「言わなくてもわかる」という文化があるように思います。たとえば、夫婦や恋人同士。「ねえ、好きって言つて」「そんなの

言わなくてもわかるだろ」——よく聞かれるセリフです。でも、それは男女間にかぎらず、親子間にも同じようなことが言えると思うのです。親は、子どもを愛しているなんて当たり前。でも、そう思っているのは親だけで、子どもにはそれが伝わっていないのではないかと。そんなことを、子どもたちの感想から感じたのです。

その後に行われた保護者会で、僕は言いました。「親が当たり前だと思つている愛も、じつは子どもたちはそこまで感じていないのかもしれない。恥ずかしいのわかります。照れくさいのわかります。でも、もつと言葉にして伝えていきませんか」

僕が書いた『五体不満足』のなかで、みなさんが最も印象的だったと言ってくださるシーンがあります。それは、僕が生まれて1ヶ月後、初めて母と対面するシーン。あまりのショックに母が倒れてしまうのではないかと、病院がベッドまで用意するなか、母が僕を見て発した言葉は、「かわいい」。そのシーンに象徴されるように、両親は僕の障害など関係なく、深い愛情を注いで育ててくれました。だからこそ、僕は「自分は存在しているんだ」と自己肯定感を育むことができたのです。みなさんが、「乙武さんはそれほど重度の障害がありながら、明るくて、前向きだ」と言ってくださるのは、きつと両親が育ててくれた自己肯定感のおかげだと思つています。

言葉で。行動で。これまで以上に社会に生きる子どもたちに、「愛」を伝え、彼らの自己肯定感を育んでいただけたら、こんなにうれしいことはありません。

乙武洋匡さんは、2011年11月23日に行われたセンターフェスティバルでご講演いただきました。